

第1回(仮称)苫小牧市民ホール建設検討委員会及び ワーキンググループ合同会議議事要旨

日時 平成29年6月26日(月) 13:30~16:30

場所 市役所9階会議室

出席 委員13名

<議題1>市民周知イベントについて

- ・ 6/3(土)「新しい市民ホールで何をしよう?」という題目でイオンモール苫小牧において市民周知イベントを開催した。
- ・ 主な目的は次の2点である。
 - ① 基本構想や建設地について、市の考えを知ってもらう。特に、「サードプレイス」という概念を周知する。
 - ② これまで出された事業アイデアを紹介しながら市民の関心を高める。
- ・ 主な内容は次のとおりである。

①展示模型

大きな模型を展示することで、来訪者が「何かやっている」と興味や関心を持ってもらえるようにした。模型の中にとまチョップを隠すなど子どもの関心を引く工夫をしながら、大人には事業の説明を加えることで、市民会館周辺の敷地イメージを持ってもらえるようにした。

②事業アイデア展示

昨年度に作成した事業アイデア集の内容をより市民目線でわかりやすくするため、事業内容を読みやすい文章に書き替えたり、とまチョップを取り入れたイラストに描き直すなどの作業を行い、パネル化して展示した。

③シール投票制度

興味のある事業アイデアにシールを貼ってもらう投票制度を取り入れた。子ども達だけではなく、大人にも熱心に事業アイデアパネルを読んでもらえるようにした。投票結果としては、合計2,730枚のシールを貼っていただくことができた。中でも食に関する事業、子どもの活動に関する事業への投票が多く、今まで市民ホールや事業内容に関心がなかった市民の方々にとっても身近な事業があるということが浸透できた。

④アンケート

本事業の認知度や、アクセス方法、建設地の考え方などについて聞き取り方式でアンケート調査を行い、来場者約600名のうち233人から回答を得た。

⑤自由記述パネル

市民ホールへの意見を書き込む狙いとして用意したが、最終的に子どもを始めイベント来訪者が自由なイラストを描くという楽しげなパネルとなった。ただ、イラストのみではなく、「雨の日でも遊べる場所が欲しい。」「おもちゃの修理屋さんが欲しい。」などの市民ホールに対する意見も書き込まれていた。

- ・ イベントのまとめ
 - ①市民の方々と直に接することができたことや市民の方々の関心の高さを実感できた。
 - ②親子連れなどは、子ども達の方が模型やパネルに興味・関心を持っていた印象があった。
 - ③イベントを知らずに通りがかった方にも関心を持っていただけた。

＜議題2＞H28年度の成果について

- ・ 事業アイデア体系図は、昨年度検討した成果をわかりやすく表している。
 - ①63個の事業アイデアを作成したこと

「市民ホールで何をするか」について、事業アイデアを具体的に決めることができたことは大きな成果の1つ。例えば、「シアター de アフタパーティー」の事業アイデアを考えた時、市民ホールでの公演後に市民を巻き込んだ打上げを行うとしたら、ホワイエの使い方はどうなるのかなどにつなげることができるように、具体的イメージを定めることは今後の市民ホールの設計に生かせる。
 - ②事業コンセプトと事業方針の整理

63個の事業アイデアをコンセプトと方針に整理できたことも大きな成果。「手作り食堂」のような今までに無い新たな試みの事業を考えていく際に、その事業のコンセプトと方針を定めていることで事業を進めやすくなり、また、その他のアイデア・事業とも関連してくる。複合施設ならではの相乗効果や、市民主体の施設づくりが可能ではないか。実際に「鑑賞」や「活動」などの個別のスペースを考えていく際にも、「関わる」という同じコンセプト・方針の元で事業展開することができ、施設を横断的に利用することにつながる。
- ・ 作成した事業アイデアを元に、どのようなハードとして整備していくのかということを検討委員やワーキンググループの皆様と一緒に考えていきたい。
- ・ 施設整備の際、多くの自治体はコンセプトや方針のような抽象的な内容は盛り込んでいるが、具体的な活動・アイデアの段階まで落とし込んでいる自治体は少ないのが現状である。鑑賞、活動など、所管が異なる部門ごとにスペースを個別管理する複合施設ではなく、施設一体となった管理運営を目指すためにも、1年間かけて事業アイデアを整理できたことも大きな成果の1つ。

＜議題3＞H29年度のスケジュール(案)について

- ・ 今回のような検討委員及びワーキンググループ合同のワークショップを、年内に3,4回行う方針でスケジュールを調整している。そのうちの1回は、検討委員やワーキンググループのメンバーのみではなく、一般市民も巻き込んだ集まりを開催したい。
- ・ 建物の計画設計の際は、初めから内部の規模や仕様を考えるのではなく、どこを敷地にするのか、その敷地の特徴とは何か、そもそもどのような事業を展開していくのが前段階として重要となる。市民ホールの敷地における土地全体の利用の仕方を考えるというのが今回のワークショップの狙いである。

→駐車場や建物の配置や動線について、自宅の設計をするイメージで考えて欲しい。また、動線として、徒歩で来訪する人のアクセスや入り口、車で来訪する人は右折で来るのか、左

折で来るのかななどを検討してほしい。

- ・ 今回のワークショップは図面上の 2 次元的な検討を行い、次回は建物の大きさを配慮した 3 次元的な検討を予定している。
- ・ ワークショップの 3 回目では、それまでの検討を踏まえ、建物内部からの景色はどう見える、座席数はどのくらいの規模が必要かなどの施設内部の検討に移っていこうと考えている。
- ・ 今回のワークショップでは、気付いたことや普段思っていることを意見として出して欲しい。合同会議での議論を事務局で専門的立場・視点から洗練させ、施設計画に反映させていきたい。

<議題 4>土地利用とアクセスの考え方について

①現市民会館周辺敷地についての確認

現市民会館と市の方針として示されている現東小学校敷地の周辺環境の特徴や課題についてグループごとにディスカッションを行って把握する。

(例) 市外からバスを利用する場合

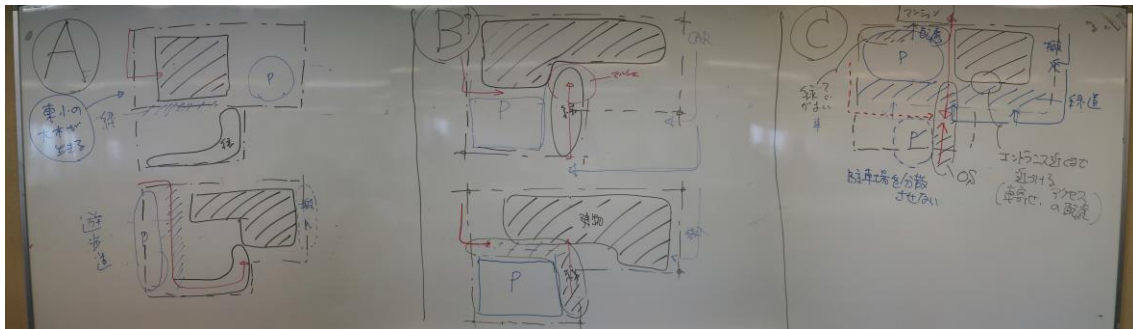
- ・ 札幌からバスで来る際、市役所前で降りると片側 3 車線の大きな通りが目の前にある。車通りが多く、驚く場面である。
- ・ 東小学校と市民会館の間の通りは緑も多く、歩道の幅が広くてゆったりしているイメージがある。晴れた日などは歩いていて気持ちがいい。
- ・ カルチャーストリートは広く整備されていて、小学生も車の心配をしないで利用することができるいい空間であると思う。
- ・ 東小学校から市民会館へアクセスする場所は、車通りが少なく歩道もあるので横断しやすい印象がある。
- ・ 「国道 36 号線は車通りが多いが、市民会館へ近づくにつれて緑が多くなって車通りも少なくなっているといつも思う。」のような、建物の中に入るまでの体験も重要であると思う。

②地図をもとに現市民会館の状況について意見交換

③ゾーニング案の作成

※グループごとのワークショップ
議事については、別途資料参照

④発表



・ 各グループの概要と意見

A 鑑賞グループ

- 南側を正面と捉えロビーを配置し、芝生などで既存の緑道と接続する。
- 東側をサービス動線とする。
- 敷地外縁に遊歩道を配し、屋内まで引き込む。
- 市役所との接続を考慮する必要がある。

意見

- ・ 東側は既存建物の裏側になるため、バックヤードとするのが妥当と考えられるが、市役所との接続が難しくなってしまう。
- ・ 東小学校の敷地内にある既存の大きな樹木を残すことができると良いのではないかと。

B 活動グループ

- 車のアクセスを東側にある旭大通側とし、東小学校南側の道路をサービス動線、現市民会館南側にあるカルチャーストリートを一般車動線とする。
- 現市民会館跡地に大きく駐車場を整備する。
- L字型のボリュームとすることで、建物に囲われたオープンスペースを創出することができ、科学センターと現市民会館の間にある既存の公園用地とも接続が期待できる。

C 展示・窓口グループ

- 南側を正面と捉え緑道を整備し、既存の緑道と接続する。
- 車のアクセスを東側とし、一般車の駐車場は渋滞を回避するため南側道路に面して出入り口を配置する。
- 北側にも車の動線を確保し、通抜けを可能とする。
- 住宅地やマンションに接する西側は駐車場とし、建物ボリュームは東側に配置する。

意見

- ・ 敷地北側のマンションは昨年、中心市街地の活性化のために建てられたものであり、これをふさぐ形で建物を配置するのは好ましくないように感じた。
- ・ マンションとの距離が近いと騒音などの問題が出てくる一方、マンション前面に駐車場を配置し、そこでイベントを開催すれば、マンションの住人が興味を持って施設を訪れることも期待できるのではないかと。
- ・ 高齢者の利用を考慮すると、エントランス付近まで車で近づけることが望ましい。
→公共交通のバス停も、エントランス近くにあった方が良いだろう。また、送迎車の一時停車ができる回込みなども考えられる。

■ 総評

- ・ 西側の住宅地への配慮、交通渋滞の回避、既存の樹木の保護などが重要である点はどのグループも共通していたように思う。
- ・ 敷地に関しては、市の基本的な方針としている現東小学校敷地で検討したが、この敷地のメリットとして、現市民会館敷地との一体的な利用が見込める点が挙げられる。市民ホールの建設後に現市

民会館を解体し、敷地を一体化することは、現状の問題である駐車場不足を解決するために有効な手段の1つと皆さんが思っているようだ。

- ・ 本日の議論で共有したポイントに加え、専門的な見地を踏まえた検討を事務局で行い、アクセス・土地利用に関して整理したものを次回提示したい。